

JA Ichikawa

RECRUIT BOOK

JAいちかわ



「豊かな地域農業」を
振興します。

「活力ある地域社会」の
実現に貢献します。

「組合員の期待に応え」
愛され信頼されるJAを目指します。

JAいちかわの事業エリアは、都心に近い東京のベッドタウンで住宅地域が多い一方、農業が盛んな地域も多く混在しています。管内は梨・ニンジン・米の生産が盛んであり、その中でも「市川のなし」「船橋のなし」「船橋にんじん」は地域団体商標を取得し、日本有数の産地となっております。そうした営農意欲の高い生産者に支えられJAいちかわは、2023年設立60周年を迎えます。

昨今の経済情勢や地域の環境が変化する中、利用者の要望などを的確に捉え「JAいちかわのイノベーション」を発揮し、新たな協同組合として組合員・役職員一丸となって地域の農業振興や活性化に取り組んでまいります。



市川市農業協同組合
代表理事組合長
今野博之



CORPORATE IDENTITY

JAいちかわの理念

JAいちかわは、**生命（いのち）・地域（ちいき）・環境（かんきょう）・和（わ）**を大切にし、
協同活動を通じて地域社会に貢献します。



Challenges
私たちの新たな挑戦

「イノベーション」をキーワードに、新しいことにチャレンジしていく



Challenge 1



ドバイへの梨輸出

2013年から梨を中東・アラブ首長国連邦（UAE）のドバイに輸出しています。みずみずしく上品な味わいの「市川のなし」の評価は高く、良好な売れ行きです。現地では、大使館などの行事や商談会にも参加しています。また、2021年にUAEの駐日大使を迎え、梨園で収穫体験をしてもらいました。

Challenge 2



「粒すけ」コーシャ認証

ドバイの飲食店では日本食の寿司が人気です。そこでJAいちかわでは米の新たな戦略として「粒すけ」の輸出に取り組みました。2021年にユダヤ教の食事規則「コーシャ」の認定を取得しイスラエルの駐日大使をお迎えして初出荷の式典を執り行いました。

Challenge 3



ヤマザキとコラボ

農業者の所得増大を目的に、出荷規格に満たない梨の付加価値を高めるために2008年から山崎製パン㈱と加工品の共同開発を進めています。2011年以降、梨の時期にはランチパックをはじめ多くのコラボ商品を販売しています。



SDGsの目標にも
当てはまるものが多くあります

interview



01 営農・経済業務

経済部
市川経済センター
営農課
谷口 沙織
（2017年入組）

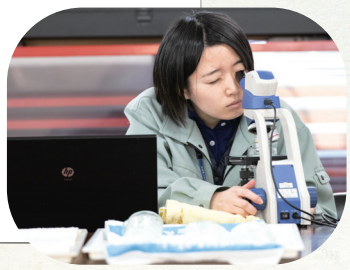
生産者が求めていることに的確に答える。壁を作らないことが大事です





営農・経済業務とは

営農技術や農業経営の指導を通しておいしい農産物を消費者へお届けするお手伝いをしています。肥料や病害虫防除、自然災害時の支援策など農業に関するあらゆる相談にお応えします。また、地域性を生かした販売ルートで出荷量の確保と価格の安定を図るとともにJAいちかわの特産物を使った商品開発や販売拡大などPR活動を積極的に行っています。



1日の流れ





JAと生産者を結ぶパイプ役

経済部
市川経済センター
センター長
武藤 健司

谷口職員は、営農指導の担当として、生産者からの農業経営や栽培に関する相談に日々対応しています。経験を重ねることで自身のスキルが上がり、成長を感じます。持ち前の明るさで生産者からの信頼も厚く、JAと生産者を結ぶパイプ役として活躍しています。

質問に答えます!!

Q 営農指導の仕事の内容や心構えを教えてください

果樹（梨）の営農指導で、果樹部会の事務局をしています。栽培技術は年々、新しくなっていきます。農薬をはじめ、いろんな相談が寄せられます。積極的に勉強し、求められることに的確に応え、壁を作らないようにしています。

Q 仕事に関することで何かチャレンジしていますか

防除指導員、毒物劇物取扱責任者の資格を持っています。営農指導員の試験は合格していますが、必要な研修が残っています。今年は晴れて営農指導員になりたいと思っています。このほか食の検定3級、土づくりマスターの資格を持っています。

Q 好きな言葉はありますか

営農指導担当として「日々一生懸命」です。特に天気が気になります。雪や遅霜への備え、台風が接近すれば強風への対処方法を求められます。皆さんの生活がかかっています。責任重大です。



Q 先輩からのメッセージはありますか

大学で農学を専攻したことが仕事に生きています。営農課は4人のうち、女性が2人で、厳しくも和やかです。いろんな勉強ができて、覚えることはたくさんありますが、生産者の役に立てる喜ばれる仕事です。

taniguchi saori

interview



来訪者をお待たせしない。
間違いのないように
することが何より大事です

02

窓口業務

行徳支店
業務課(窓口)
牟田 美涼
(2020年入組)





窓口業務とは

貯金の入出金・振込・税公金の受付をはじめ住宅や車の購入のための融資をする信用事業、万が一の病気やケガ・災害に備えて保障を提供する共済事業の接客がメインです。窓口業務はJAいちかわの顔です。来店者にとって窓口職員の印象や対応がJAいちかわのイメージとなります。こまやかな気配りで組合員・地域の皆さんにより良いサービスを提供しています。



1日の流れ

朝礼 8:30	開店 10:00	11:30	12:30	閉店 15:00	夕礼 16:45
前日預かりの処理 開店準備	窓口応対 電話応対 推進業務	昼休憩	窓口応対 電話応対 推進業務	現金・伝票の精査 事務処理 翌日の準備	退勤



何事にも前向きで支店の顔

行徳支店
支店長
長濱 英之

牟田職員は、窓口担当として明るい接客対応で、さまざまな要望に応え何事にも前向きに取り組む姿勢は支店の顔として心強く感じています。地域の皆さまとの信頼関係を築き、ますますの成長を楽しみにしています。

質問に答えます!!

Q 信用窓口の仕事の内容や職場の雰囲気を教えてください

支店の信用窓口で入出金業務を担当しています。高齢者の方が多く訪れますので、なるべくお待たせしない、間違いがないようにしています。お金をお預かりしたときは、声をかけて確認しています。

Q 組合員と接するときは、どのようなことを心掛けていますか

来訪者とお話をする中で、お孫さんが生まれたことや、家の建て替えなどの話があれば、渉外の担当者に話をつなげています。定期積金や金融商品の紹介もさせていただいています。

Q 何かチャレンジしていますか

銀行業務検定の法務と税務で4級を取得しています。今、法務の3級取得を目指しています。ファイナンシャルプランナーの3級の取得に向けた勉強もしています。



Q 先輩からのメッセージはありますか

組合員との距離が近く、どんなことでも相談に来てくれます。行徳支店はJAの中でも規模が大きく、活気があり、女性も多く、働きやすい職場です。

muta misuzu

interview

03

渉外業務

浦安支店
渉外課
青山 冬威
（2016年入組）



ご利用者の立場でご提案。
暮らしを支える仕事です





渉外業務とは

常に営業車で組合員・地域の皆さんのところへ足を運び、それぞれのライフプランに合った提案をしています。貯金や融資、共済、年金や相続の相談はもちろん、一方では農業の話、家族の話、趣味の話といったように会話の内容はさまざま。一般企業とは違いJAならではの信頼関係を築くことができ、より身近な立場でニーズにお応えし悩み解決のお手伝いをしています。



1日の流れ

朝礼 8:30	実績などの確認、訪問予定先の確認 集金・推進などの営業活動 集計作業	帰店 12:00	昼休憩	13:00	集金・推進などの営業活動	帰店 15:00	集計作業 翌日の訪問予定の準備	夕礼 16:45	退勤 （野球部の練習）



信頼も厚く頼りにされる存在です

浦安支店
支店長
柳井 将志

青山職員は、地域の皆さんのライフプランの実現のため日々業務に取り組んでいます。明るく育メンでお客さまからの信頼も厚く支店メンバーからも所属している野球部でも頼りにされる存在です。一人でも多くの「JAいちかわファン」を作ることを合言葉に夢のある地域づくりに取り組んでいます。

質問に答えます!!

Q 渉外の仕事の内容や職場の雰囲気を教えてください

組合員のお宅に伺い、お話を聞き、貯金、共済、融資など、その方が求めていることに沿ってご提案をすることです。自然災害で被害に遭った組合員から「共済に入っていて良かった」という声を聞くと励みになります。

Q 何かチャレンジしていますか

ファイナンシャルプランナー２級を取得しています。不動産（土地）や建物の活用などを考えている組合員が多くいますので、宅地建物取引士の取得に向けて勉強中です。



Q 趣味は何ですか

軟式野球です。高校・大学と野球部でした。現在はJAの野球部の選手です。天皇杯や国体への出場を目指しています。土曜日は野球部の練習や試合が多いです。日曜日は妻と子どもで江戸川沿いを散歩しています。

Q 先輩からのメッセージはありますか

渉外課は3人で少人数ですが、話しやすいし、なんでも相談でき、非常に風通しのいい職場です。渉外は地域密着の仕事で、暮らしを支える“エッセンシャルワーカー”という気持ちをもって、一緒に働きましょう。

aoyama toi

Connections



感謝の集い

組合員・利用者への利益還元事業の一環として、毎年「感謝の集い」を開いています。2019年は東京都千代田区の東京国際フォーラムで堀内孝雄スペシャルコンサートを楽しんでいただきました。



感謝祭

「地域の絆を大切に」をテーマに毎年感謝祭を開いています。管内農産物や飲食物、「市川のなし」の加工品などを販売します。組合員や地域の利用者が多く訪れます。





梨販売イベント

船橋市のJR西船橋駅で「市川のなし」の販売会を行いました。「あきづき」を中心に1000個を用意し、顧客のニーズに合わせた単位で販売しました。



野球部

JAいちかわ野球部は、1965年に結成しました。仕事と野球を両立させながら活躍しています。部員は19人。軟式野球チームとして全国大会や県大会にも出場しています。

Women's roles

JAいちかわでは、子育てをしながら活躍できる職場を目指しています。男女問わず育児休暇はもちろん、小学校就学の始期に達するまでの子を養育する職員に対しては勤務時間の短縮制度の利用が可能です。特に女性は出産などで一時的に休んでも復帰しやすく、また、多くの女性管理職も在籍しており女性にも平等にチャンスがあり、長く勤められる環境が整っています。

2021年度には女性の活躍に取り組む優良JAとして農林水産省から女性役員の役割と活躍についてのヒアリングを受けました。



サポートがしっかりしているので安心して仕事ができます

先輩の声

私は、入組後に結婚し、2度の育休を経て職場復帰しました。小学校の送り出しや保育園の送迎などは時間制限があるため時短制度も利用しています。保育園や学校行事に加え子どもの体調不良で急な休みをとることもあり、大変なことも多いのですが、上司や同僚の理解と温かいサポートのおかげで仕事と育児を両立することができ、やりがいを感じています。



国分支店 業務課 係長 **岡 歩**

information

概要

JAいちかわは江戸川を挟んで東京都に接し、千葉県北西部の市川市・船橋市・浦安市と、利根川に接する柏市北部を管内に置く農業協同組合です。

管内は都心から30km圏内にありながら、農業が盛んです。営農意欲の高い組合員が地域農業を支えています。土壌は、下総台地の赤土（関東ローム）ながら、代々たゆまず続く土づくりが優れた農産物を産出します。市川市は、梨・トマト・ネギ、船橋市は、梨・ニンジン・ホウレンソウ、柏市は、水稲・カブ・チンゲンサイが代表的な作物です。柏市と茨城県の県境を流れる利根川沿いは、堆積平野を形成する肥沃（ひよく）な土壌。稲作の好適地で、高品質な米を多く収穫します。

また、古くから道路・鉄道網が発達し、住みたい街に数えられる管内の各自治体は、「住宅地と農地の調和」をテーマに街づくりを進めており、当JAは総合事業を通じ、市民のくらしに貢献しています。

相互扶助の精神を発揮し、組合員・地域の皆さまから、愛されるJAを目指し、共に歩んでまいります。

組織概要

設立
1963年4月1日

代表者
代表理事組合長 今野 博之
代表理事理事長 田中 一郎

組合員数

正組合員	4,621人
准組合員	20,104人
合計	24,725人

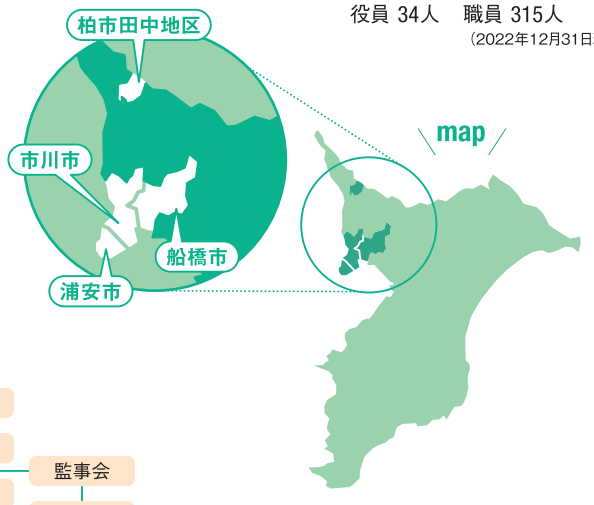
（2022年12月31日現在）

主な事業量

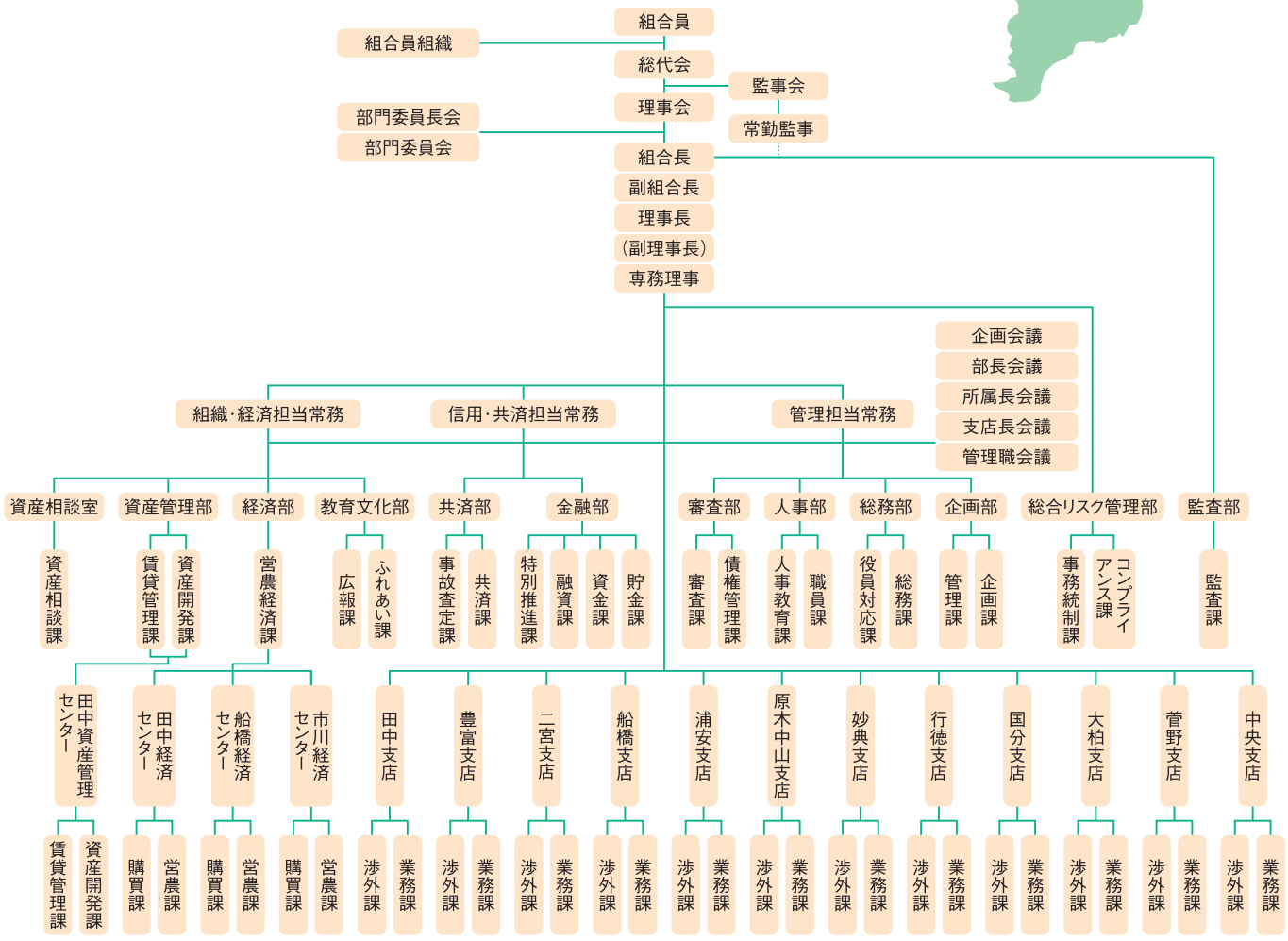
出資金	33億383万円
貯金	3,699億8,860万円
貸出金	2,326億8,969万円
購買供給高	13億3,446万円
販売品販売高	14億5,843万円
長期共済保有契約高	6,580億7,276万円

（2022年12月31日現在）

役職員数
役員 34人　職員 315人
（2022年12月31日現在）



組織機構図



JAいちかわ
市川市農業協同組合
〒272-0811 千葉県市川市北方町4丁目1352番地2
TEL.（大代表）047-339-1111　FAX.047-339-1125　HP https://www.ja-ichikawashi.or.jp

発行日:2023年11月